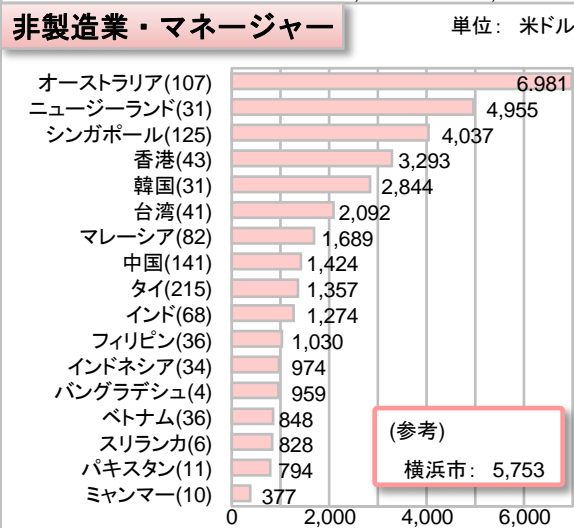
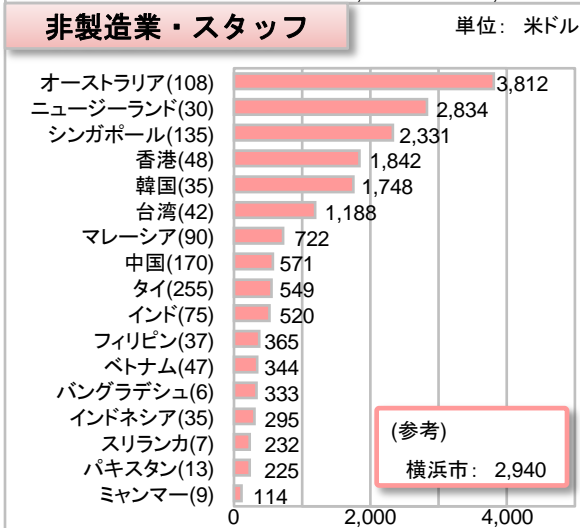
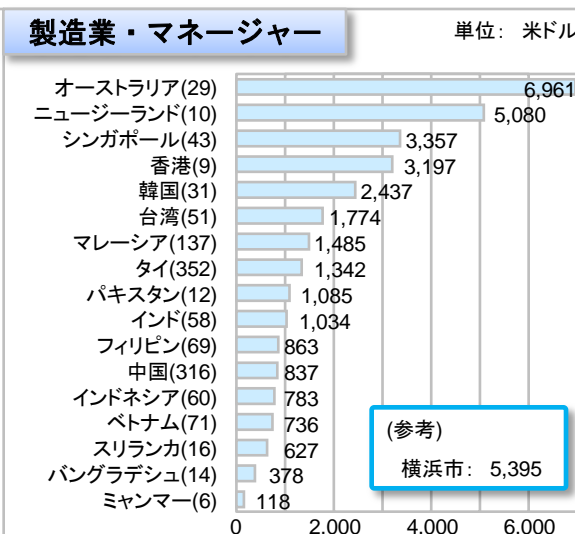
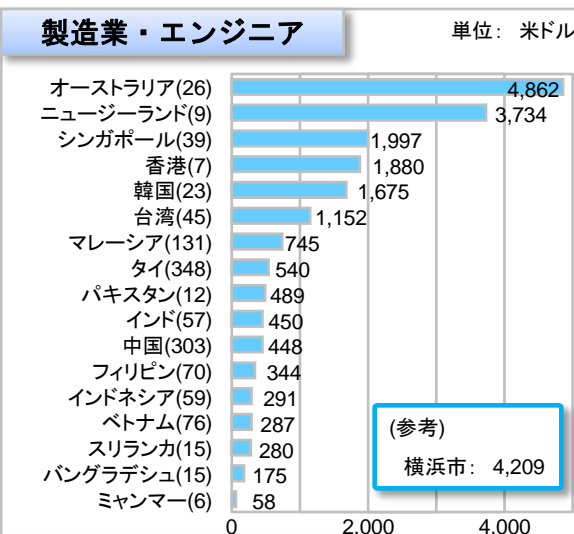
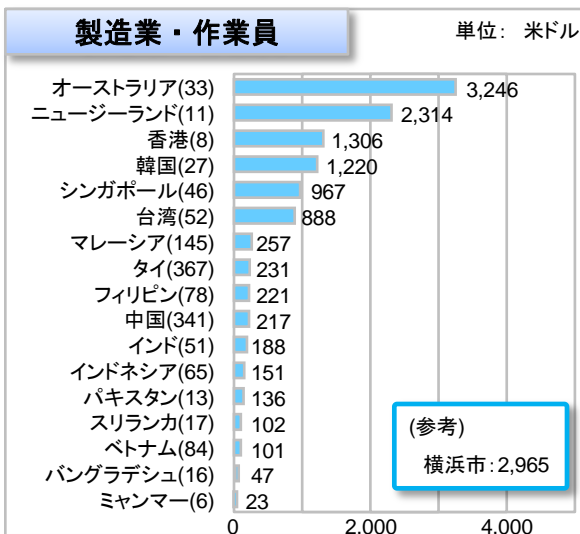


9. 平均賃金(1) 基本給・月額

カッコ内は回答企業数



- オーストラリアの平均賃金(月額基本給)は、製造業・非製造業全てのクラスで最も高く、いずれも参考値である横浜市(別調査)の賃金を上回った。
- 中国の平均賃金は、非製造業ではオセアニア、アジアNIESおよびマレーシアに次いで高いが、製造業のエンジニアやマネージャークラスでは、タイやインドを下回っており、金額の乖離も大きい。
- ASEANにおいてはベトナムの賃金が最も低く、製造業・非製造業のいずれも、インドを除く南西アジア(パキスタン、スリランカ、バングラデシュ)と同程度のレベルにある。

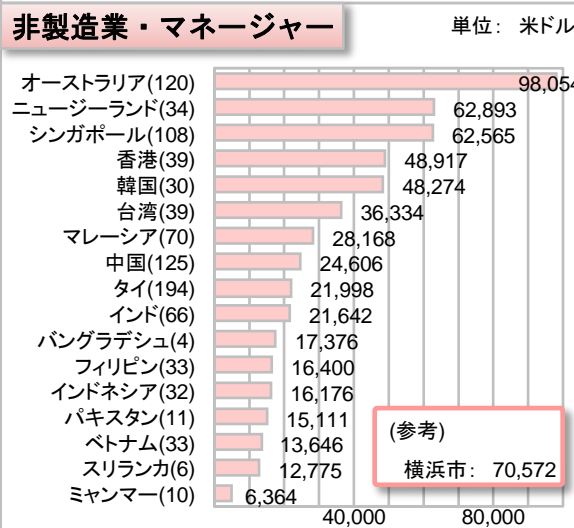
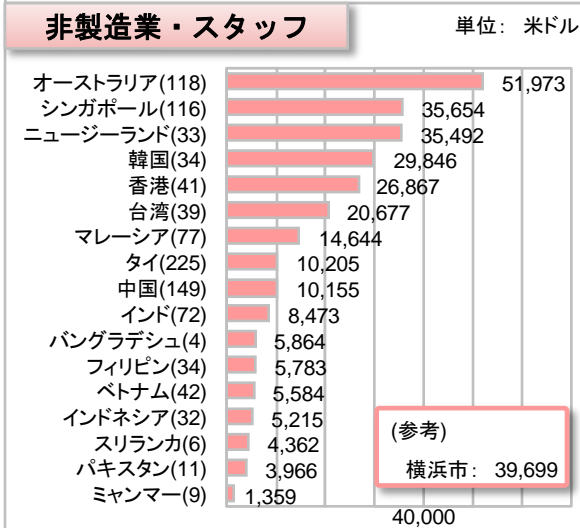
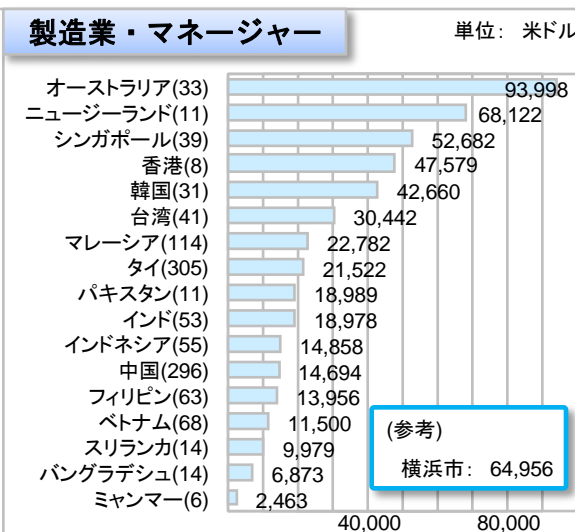
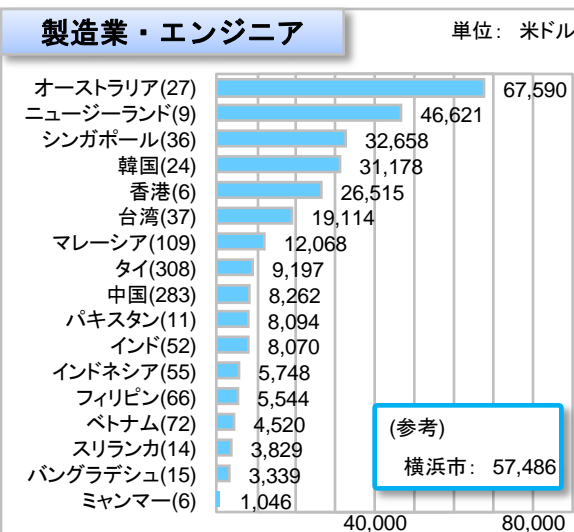
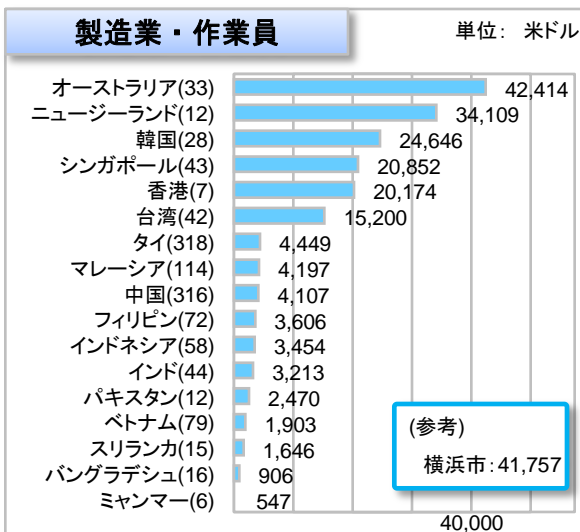
ベトナム、ミャンマー以外の国については、回答は自国通貨建てで入手。各職種の自国通貨建て賃金の平均値を2009年9月の平均為替レート(各国中央銀行発表)にて米ドルに換算した値。ベトナム、ミャンマーは、回答企業によって通貨が異なる(自国通貨建て/米ドル建て)ため、自国通貨建ての企業の回答を一旦、米ドルに換算の上、加重平均した値。ミャンマーについては現地からの実勢レートで米ドルに換算した値。

(参考)：横浜市「平成21年度職種別民間給与実態調査(4月実施)」より09年4月の円・米ドル為替の平均レートから作成。



カッコ内は回答企業数

9. 平均賃金(2) 年間実負担額



- 製造業・非製造の全てのクラスでオーストラリアの平均賃金が最も高い。また、ニュージーランドおよびアジアNIEsにおいて、全クラスで相対的に高い傾向が見られる。
- 2008年度調査結果と比較すると、中国およびインドネシアでは、製造業・非製造業の全クラスで平均賃金が上昇。
- ベトナムおよびインドでは、製造業の全クラスで平均賃金が増加。特にインドは、前年比15~21%と上昇幅が大きい。一方の非製造業では概ね横ばい。
- タイでは、製造業・非製造業の全クラスで平均賃金が下落。とりわけ製造業の下落幅が大きい(マイナス11%~24%)。

ベトナム、ミャンマー以外の国については、回答は自国通貨建てで入手。各職種の自国通貨建て賃金の平均値を2009年9月の平均為替レート(各国中央銀行発表)にて米ドルに換算した値。ベトナム、ミャンマーは、回答企業によって通貨が異なる(自国通貨建て/米ドル建て)ため、自国通貨建ての企業の回答を一旦、米ドルに換算の上、加重平均した値。ミャンマーについては現地からの実勢レートで米ドルに換算した値。

(参考): 横浜市「平成21年度職種別民間給与実態調査(4月実施)」より09年4月の円・米ドル為替の平均レートから作成。